事業シート（令和9年度予算）

事業名	41400　救急医療対策事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
担当課	医療保健部　医療政策課	内線	2801		目	4	地域医療対策費

総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人々への投資
		ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり
	分野別	政策分野	1	福祉・医療・保健
		施策分野	(5)	医療・保険

根拠計画	過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰくらしを守る 市民の皆さまの健康と命を守ることを最優先に、妥協しない医療体制を創ります

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市民が休日夜間に急病になった時に受診できる医療体制を整え、安心して暮らせるようにする。
概要	・休日診療所の開設（日・祝・年末年始、医科及び歯科） ・在宅当番医制・病院群輪番制病院（久美愛厚生病院、飛騨市民病院）への運営費の補助 ・救命救急センター（高山赤十字病院）への運営費等の助成 ・24時間電話医療相談の実施、「救急安心センターぎふ」の利用勧奨などによる適正な救急医療受診の啓発

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	54.7%		↑

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		103,307	99,778	102,979			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（休日診療所使用料、保健衛生費受託事業収入等）	35,554	33,955	36,430			
一般財源		67,753	65,823	66,549			
新規・拡充	主な事業内容						
	休日診療所の運営	18,261	18,078	18,035			
	24時間電話医療相談	1,620	1,610	1,620			
	在宅当番医制・病院群輪番制病院運営費助成	42,048	41,989	42,048			
	救命救急センター運営費等助成	40,000	37,511	40,000			
	救急安心センター運営負担金	1,093	364	1,091			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	実施計画額 101,900 増減 (d)-(c)
103,987			1,008
36,037			△ 393
67,950			1,401
要求額	説明		
18,870			
2,010			
42,078			
40,000			
890			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・休日診療所開設状況 医科（72日開設）　利用者数：971人 歯科（52日開設）　利用者数：120人 ・救急医療機関（二次・三次）運営に対する助成 ・＃7119救急安心センターぎふ電話相談件数　633件 ・24時間電話医療相談の相談利用数　2，486件
評価等	・休日診療所の開設により、市内中核病院の救急外来の負担軽減を図ることができた。 ・24時間電話医療相談事業および＃7119救急安心センターぎふの実施により、市民の健康不安の解消を支援し、救急医療の適正利用の普及啓発を図ることができた。
次年度以降の考え方（担当課）	・救急医療の確保および適正利用の普及を継続して実施する。 ☑ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R7完了　☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	☐ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R8完了　☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	41410　医療確保等支援事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
担当課	医療保健部　医療政策課	内線	2801		目	4	地域医療対策費

総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人々への投資
		ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり
	分野別	政策分野	1	福祉・医療・保健
		施策分野	(5)	医療・保険

根拠計画	過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰくらしを守る 市民の皆さまの健康と命を守ることを最優先に、妥協しない医療体制を創ります

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市民が良質で適正な医療サービスを受けることができるよう医療体制の確保と充実を図る。	概要	・市内中核病院の医学生から指導医までに対する切れ目のない支援、就労・医療環境の整備、診療機能の維持等に対する助成

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	54.7%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		271,152	253,184	285,973			
特定財源	国費（　　）						
	県費（ 地域医療確保事業費 1/2 ）	20,475	17,923	22,400			
	その他（ 飛騨高山ふるさと基金繰入金、寄附金 ）	10,000	11,530	131,000			
一般財源		240,677	223,731	132,573			
新規・拡充	主な事業内容						
	医師確保及び教育支援等に対する助成	165,689	163,668	170,990			
	病院設備整備に対する助成	58,493	45,227	58,493			
	医師育成支援補助金（医学生から中堅までの継続育成）	2,530	2,343	2,530			
	中核病院との医療人材教育に関する連携の強化	30,000	30,000	30,000			
	飛騨地域の周産期医療の強化	9,195	9,195	18,390			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	281,900 増減 (d)-(c)
286,765			792
23,864			1,464
			△ 131,000
262,901			130,328

要求額	説明
184,990	
45,227	手術支援ロボット導入に対する助成ほか
2,588	
30,000	地域医療者教育寄附講座（岐阜大学）
18,390	地域周産期医学寄附講座（岐阜大学）

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・市内中核病院の医師確保や医療機器整備等に対する助成 ・岐阜大学医学部「地域医療コース」在校生9名、新入生2名の修学資金を支援 ・飛騨医療圏の医療体制を安定的に維持するため、市内2か所の中核病院と3者連携協定を締結 ・地域医療者教育寄附講座（岐阜大学）の実施 ・地域周産期医学講座（岐阜大学）の開設 ・手術支援ロボットの導入に対する助成	
評価等	・市民が安心して地域医療を受けられる環境整備に寄与した。 ・「地域医療コース」は将来の医師確保へ向けて効果が期待できる施策であることから、今後もより多くの学生への利用促進を図る。 ・研修医確保を目的とした2会場のガイダンスへ、市内2か所の中核病院と連携して出展できた。 ・地域周産期医学講座の開設により、地域の周産期診療体制の強化を図ることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・市内中核病院の医療体制の支援については、ヒアリング等を実施しながら、実態に応じた助成を行う。 ・将来の医師確保へ向けて、引き続き「地域医療コース」の新規入学生及び在校生の修学を支援する。 ・大学医学部と締結した協定等に基づき、市内医療機関をフィールドとした医学生の実習やセミナーの開催を支援し、将来の定着を目指した人材育成をすすめる。 ・飛騨地域の持続可能な医療提供体制の構築に向けた検討等をすすめる。	☐ 維持・改善 ☑ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・3者医療連携協定に基づいた医療人材育成の環境整備や医療DXの推進等、地域医療提供体制の安定を図るために必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	